



平成23年7月20日

各位

会社名 トピー工業株式会社  
代表者名 代表取締役社長 藤井 康雄  
(コード:7231 東・大・名証第1部)  
問合せ先 執行役員総務部長 熊澤 智  
(TEL. 03-3493-0777)

### 業績予想及び配当予想の公表に関するお知らせ

当社は、平成23年5月12日公表の「平成23年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)」において未定としておりました平成24年3月期の連結業績予想及び配当予想について、下記のとおりとしましたのでお知らせいたします。

#### 記

#### ●業績予想について

平成24年3月期第2四半期(累計)連結業績予想数値(平成23年4月1日～平成23年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A) (平成23年5月12日発表)	—	—	—	—	—
今回修正予想(B)	114,000	3,300	2,700	1,300	5.48
増減額(B-A)	—	—	—	—	—
増減率(%)	—	—	—	—	—
(ご参考)前期実績 (平成23年3月期第2四半期)	106,723	2,699	2,029	516	2.15

平成24年3月期通期連結業績予想数値(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A) (平成23年5月12日発表)	—	—	—	—	—
今回修正予想(B)	244,000	9,800	8,600	4,400	18.55
増減額(B-A)	—	—	—	—	—
増減率(%)	—	—	—	—	—
(ご参考)前期実績 (平成23年3月期)	221,413	7,006	5,241	2,072	8.64

平成24年3月期第2四半期（累計）個別業績予想数値（平成23年4月1日～平成23年9月30日）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A) (平成23年5月12日発表)	—	—	—	—	—
今回修正予想 (B)	78,000	2,000	2,300	1,300	5.48
増減額 (B-A)	—	—	—	—	—
増減率 (%)	—	—	—	—	—
(ご参考)前期実績 (平成23年3月期第2四半期)	72,454	2,343	2,753	1,698	7.07

平成24年3月期通期個別業績予想数値（平成23年4月1日～平成24年3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A) (平成23年5月12日発表)	—	—	—	—	—
今回修正予想 (B)	165,300	4,900	5,100	3,000	12.65
増減額 (B-A)	—	—	—	—	—
増減率 (%)	—	—	—	—	—
(ご参考)前期実績 (平成23年3月期)	149,510	3,589	3,925	2,167	9.03

公表の理由

平成24年3月期の業績予想は、東日本大震災の影響により未定としておりましたが、最近の事業環境及び需要見通し等を踏まえ、上記のとおり公表いたします。

今後のわが国経済は、電力供給の制約や原油高、円高等の下振れリスクが潜在するものの、景気は持ち直しが期待されます。当社グループは、これまで生産性の向上及び固定費の適正水準管理等、あらゆるコスト改善諸施策により強靱な収益構造の確立に邁進してまいりましたが、今後は当社グループの最大の特色である「素材から製品までの一貫生産」を活かした収益の拡大が期待できることから、上記業績を見込んでおります。

自動車・産業機械部品事業では、大震災からの回復が早かった建設機械メーカー・トラックメーカー向け需要が堅調に推移する見通しです。また、昨年度に行いました中国での建機用足回り部品の生産能力増強の効果発現を織り込んでおります。鉄鋼事業では、当社グループの自動車・産業機械部品事業に供給される建機用足回り部品・ホイール向け鋼材が高水準で推移すると見込んでおります。

●配当予想について

	年 間 配 当 金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期 末	合 計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
前 回 予 想 (平成 23 年 5 月 12 日発表)	—	—	—	—	—
今 回 修 正 予 想	—	2.00	—	3.00	5.00
当 期 実 績	—	—	—	—	—
前 期 実 績 (平成 23 年 3 月 期)	—	0.00	—	4.00	4.00

公表の理由

当社は、連結業績に応じた株主の皆様への利益還元と今後の事業展開ならびに企業体質強化に向けた内部留保の充実を利益配分に関する基本方針としております。

当連結会計年度の配当金につきましては、業績の見通しがつかないこと等から未定とさせていただいておりましたが、上記の業績予想や株主の皆様への安定的な配当継続等を総合的に勘案し、以上のとおり予定しております。

※上記の予想は本資料の発行日現在において入手可能な情報に基づき作成したものです。実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

以 上